

令和 3 年度 SSH 意識調査アンケート（JST より） 結果分析

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が令和 3 年度に実施した SSH 意識調査アンケートについて、全国の SSH 指定校および本校の結果が通知されました。その概要を報告します。

生徒向けアンケート

- ・ 本校では SR 科の生徒を対象にアンケートを実施しました。「SSH の取組に参加して科学技術に対する興味・関心・意欲が増したか」という問いに対して「大変増した」、「やや増した」と答えた本校生徒の割合は 75% を超えており（**図 1**）、全国の SSH 指定校の集計よりも高い結果となりました。
- ・ 「SSH の取組に参加したことで、学習全般や科学技術、理科、数学に対する興味、姿勢、能力が向上したか」という問いについて、特に本校で向上が見られたのは「未知の事柄への興味（好奇心）」、「科学技術、理科・数学の理論・原理への興味」、「真実を探って明らかにしたい気持ち（探究心）」で、各項目で「大変向上した」または「やや向上した」と答えた割合は約 80% でした。

卒業生向けアンケート

本校では SR 科の卒業生から回答を得ました。その内、大学学部生が 84.2% でした。

- ・ 「SSH 指定校での経験は、専攻分野、現在の職業の選択、または将来就きたい職業を考える上で、影響を与えたか」という問いに対して、「強く思う」または「やや思う」と答えた本校卒業生の割合は約 70% で（**図 2**）、全国の SSH 指定校の集計よりも高い結果となりました。
- ・ 「どの取組がどの程度影響したか」という問いについて、特に本校卒業生で影響度が高かったのは、「科学技術、理科・数学に割り当てが多い時間割」、「個人や班で行う課題研究（自校の教員の指導のみで行うもの）」、「課題研究での観察・実験の実施」でした。
- ・ 「現在の環境で必要となっている能力や姿勢はどのようなものか」という問いについて、本校卒業生で特に必要と考えているのは「未知の事柄への興味（好奇心）」、「自分から取り組む姿勢（自主性、やる気、挑戦心）」、「粘り強く取り組む姿勢」、「考える力（洞察力、発想力、論理力）」でした。また、これらについて「在学中にどの程度向上したか」という問いについて「とても向上した」または「ある程度向上した」と答えた割合はどれも 85% 以上でした。

問2 SSHの取組に参加したことで、科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか。
(回答は1つだけ)

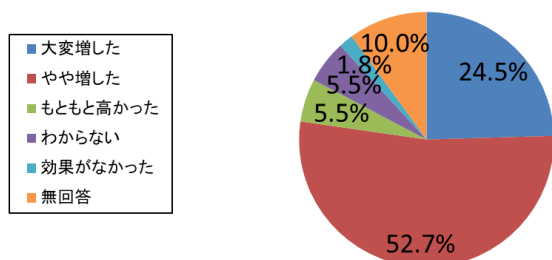


図 1 「SSH の取組に参加したことで、科学技術に対する興味・関心・意欲が増したか」のアンケート結果。

問10 SSH指定校での経験は、専攻分野、現在の職業の選択、または将来就きたい職業を考える上で、影響を与えたと思いますか。(選択は1つ)

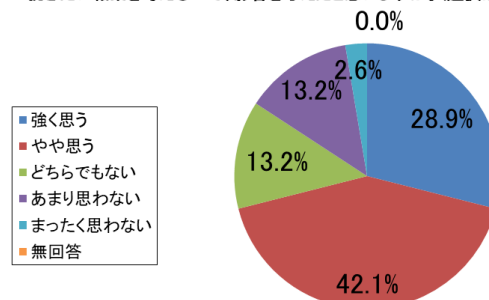


図 2 「SSH 指定校での経験は、専攻分野、現在の職業の選択、または将来就きたい職業を考える上で、影響を与えたか」のアンケート結果。